

令和元年度第2回仙台市地域保健・保健所運営協議会 議事録

開催日時	令和2年1月22日（水）15：00～
開催場所	市役所本庁舎2階 第一委員会室
委員 (順不同・敬称略)	寶澤篤（委員長） 相澤雅子 赤坂和昭 安齋由貴子 猪股佳子 及川敦子 岡崎博 小田島久美子 片倉成子 北村哲治 小池和幸 小菅玲 佐々木秀美 長野正裕 西村秀樹 橋本実 保角博行 森谷就慶
事務局	健康福祉局 局長 次長 次長兼保健所長 障害福祉部長 保険高齢部長 地域包括ケア推進課長 保険年金課長 保健衛生部主幹 保健管理課長 健康政策課長 医療政策担当課長 健康安全課長 生活衛生課長 微生物課ウイルス係長 子供未来局 局長 子供育成部長 子供保健福祉課長 青葉区保健福祉センター所長 宮城野区保健福祉センター次長 若林区保健福祉センター所長 太白区保健福祉センター所長 泉区保健福祉センター所長 教育局 健康教育課長
次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 委員紹介 4. 議事 （1）委員長選任 （2）委員長職務代理者指名 （3）「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく令和元年度の取組について （4）風しん対策について （5）感染症発生動向調査の機能強化について （6）その他 5. 閉会

<p>発言者等</p>	
<p>〈開会〉 進行</p>	<p>ただいまから令和元年度第2回仙台市地域保健・保健所運営協議会を開催いたします。</p> <p>初めに、本協議会の開催に当たり、仙台市健康福祉局長の舩山よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>健康福祉局長</p>	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>仙台市健康福祉局の舩山と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は大変お忙しい中を、地域保健・保健所運営協議会にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>この協議会、9月に委員の改選ということでございまして、改選後初めての協議会でございます。</p> <p>改選に際しましては、新たに8名の方に委員をお引き受けいただきました。新たにお引き受けいただきました方、そして、引き続き委員としてお引き受けいただきました方々に、改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>本市の「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」は、今年度で作成から丸2年となりますが、市民の皆様の健康寿命の延伸を目指しまして、他局との連携を図りながら、重点分野ごとに実践的な取り組みを進めているところでございます。</p> <p>引き続きこの協議会において、皆様方のご協力をいただきながら、取り組みの充実に努めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします申し上げます。</p> <p>本日は、本年度の取り組み状況についてご報告いたしますので、委員の皆様から忌憚のないご意見、ご提言を賜ればと考えています。</p> <p>また、保健所を中心といたします健康危機管理についても、市民の皆様の安全安心のために、各区保健福祉センターと一体となり、本市としてより迅速かつ的確な対応に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>今後とも、委員の皆様方のご支援、ご協力をどうかよろしくお願いいたします申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>進行</p>	<p>本日の協議会は、昨年、委員任期が改まりましてから初めての開催となります。</p> <p>ここで、今期の委員としてご就任いただきました皆様をご紹介申し上げます。委員名簿の順にご紹介いたします。</p> <p>若林区健康づくり区民会議委員、相澤雅子様でございます。</p> <p>尚綱学院大学総合人間科学系健康栄養部門教授、赤坂和昭様でございます。</p>

	<p>宮城大学看護学部看護学科教授、安齋由貴子様でございます。</p> <p>仙台商工会議所女性会副会長、猪股佳子様でございます。</p> <p>全国健康保険協会宮城支部保健グループグループ長、及川敦子様でございます。</p> <p>仙台市議会議員、小田島久美子様でございます。</p> <p>宮城県栄養士会副会長、片倉成子様でございます。</p> <p>仙台市薬剤師会会長、北村哲治様でございます。</p> <p>仙台市レクリエーション協会会長、小池和幸様でございます。</p> <p>仙台歯科医師会会長、小菅玲様でございます。</p> <p>宮城県看護協会副会長、佐々木秀美様でございます。</p> <p>仙台市医師会副会長、長野正裕様でございます。</p> <p>宮城労働局労働基準部健康安全課課長、西村秀樹様でございます。</p> <p>東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門個別化予防・疫学分野教授、寶澤篤様でございます。</p> <p>仙台市立南小泉中学校校長、保角博行様でございます。</p> <p>東北文化学園大学医療福祉学部教授、森谷就慶様でございます。</p> <p>そして、本日はご欠席ですが、仙台市食品衛生協会専務理事、岡崎博様、仙台大学副学長兼健康管理センター長、橋本実様にご就任いただいております。委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日、出席しております市職員については、お手元の職員出席者名簿をご覧ください。</p> <p>ここで、本日の協議会の成立についてお知らせいたします。</p> <p>現在、半数以上の委員にご出席いただいておりますので、仙台市地域保健・保健所運営協議会条例第5条の規定により、本協議会は成立しております。</p> <p>続きまして、資料の確認です。お手元の会議資料一覧をご覧ください。資料1から資料3は、事前に委員の皆様方にお送りしております。</p> <p>また、本日の配付資料として、座席表、職員出席者名簿のほか、会議資料一覧の当日配付資料の3点を机上にお配りしております。</p>
〈議事〉 進行	<p>それでは、議事に入りたいと存じます。</p> <p>本日は、委員任期が改まりましてから初めての協議会となりますので、まず、委員長を選任していただきたいと存じます。委員長は、仙台市地域保健・保健所運営協議会条例第4条の規定により、互選により定めることとなっております。皆様方からご発言ありますですか。</p>
赤坂委員	<p>私のほうから、前期に引き続いて、東北大学の寶澤先生でお願いすることを提案させていただきたいと思います。(拍手)</p>
進行	<p>ただいま、赤坂委員から寶澤委員をご推薦いただきました。皆様、い</p>

	<p>かがですか。(拍手)</p> <p>寶澤委員、よろしいでしょうか。(「はい」の声あり)</p> <p>恐れ入りますが、委員長席にご移動いただくようお願いいたします。</p> <p>ここで、寶澤委員長からご挨拶をいただきたいと存じます。</p> <p>委員長、お願いいたします。</p>
<p>〈挨拶〉</p> <p>寶澤委員長</p>	<p>東北大学の寶澤です。委員長を拝命させていただきましたので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>いきいき市民健康プランの表にもありますとおり、「すべての市民が健康で明るく、元気に生活できる市民社会の実現に向け」というところで、本当に仙台市の方々には我々市民のことをいつも守っていただいております。委員の皆様方はそれぞれの団体の代表として仙台市民の健康を守ってくださっているということにも、改めて感謝をさせていただきます。</p> <p>この場で、今年、取り組んでいらっしゃることであるとか今後の計画について、市民のことを考えての議事になると思いますが、委員の先生方には、前期からいらっしゃる方々はご存じだと思いますが、ぜひ忌憚のないご意見を頂戴して、仙台市の市民に対する事業をよりよいものにできるかどうかといったところで、前向きな意見を出していただければと思っておりますので、ぜひ皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
進行	<p>これからの進行は、委員長にお願いしたいと存じます。</p>
寶澤委員長	<p>議題の2つ目です。「委員長職務代理者の指名」でございます。</p> <p>仙台市地域保健・保健所運営協議会条例第4条第3項の規定により、委員長の私のほうから職務代理者を指名することになっております。</p> <p>仙台市医師会の長野委員にお願いしたいと思いますが、長野委員、委員の皆様、よろしいでしょうか。(拍手)</p> <p>議事録署名人は私から指名させていただきます。宮城大学の安齋委員、ぜひよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次の議事に移ります。「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく令和元年度の取り組みについてです。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>検討すべき項目も多いことから、まず全体の説明をいただいた後に、資料1の6つの重点項目と「社会環境改善・整備」の7つに区切って議論したいと思います。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>健康政策課の木村です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>資料1をお手元をお願いします。</p> <p>修正箇所がありますので、資料1の3ページをご覧ください。</p> <p>3ページの中ほどの表に、各種健診の数字が並んでいます。上から2</p>

つ目の国保特定健診、40～74歳の国保加入者の方が対象ですが、受診率が「36.5%」となっていますが、「36.8%」の誤りでした。申しわけございませんでした。

それでは、1ページをご覧ください。「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく令和元年度の取組についてご報告いたします。

平成30年3月に策定いたしました「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」については、令和元年度は、計画推進のための関係団体や事業者との推進体制として「せんだい健康づくり推進会議」を開催し、ワーキングで協働した事業を実施するなど事業者との連携による取り組みを開始してまいりました。

推進の柱として位置づけている6つの重点分野に加えて、健康づくりに取り組みやすい環境を整えることが重要であることから、新たに「重点分野を支える社会環境の改善・整備」についても、他局や産業界との連携等により、取り組みの推進を図ってまいりました。

「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」の啓発は、後ほど詳しく紹介いたします。

まず、6つの重点分野についてお話をいたします。

2ページをご覧ください。重点分野1、生活習慣病予防です。新たな取り組みや力を入れている事業などを中心にご説明いたします。

1の生活習慣病予防の周知・啓発ですが、(2)の学齢期の健康的な生活習慣形成の推進ですが、仙台市の小学校教育研究会保健教育研究部会と連携し、学童を対象といたしました生活習慣に関する授業用の資料の作成に向けた検討を行っているところです。完成した教材は、小学校の授業のほか、地域における健康教育にも活用予定です。

また、(3)の交通フェスタ2019における啓発、それから、その下の(4)の産業安全衛生宮城大会における啓発、さらにその下の(5)の楽天生命パーク宮城イーグルスガールデー2019における啓発など、他部局や産業関係と連携しての周知・啓発に特に力を入れてまいりました。

3ページ、2の健診受診率の向上を図るための啓発です。

仙台市では、各種健康診査を行っております。受診率は、下記の表のとおり、おおむね横ばいですが、昨年度より仙台市医師会を初め関係団体の方々のご協力のもと、胃がん検診において胃内視鏡検査を導入いたしました。当初、受診者を6,800人と見込んでおりましたが、現時点で1万人を超える受診者の申し込みをいただいているところです。

続きまして、4ページ中ほど、(3)ピンクリボン講演会の開催です。

がん検診の受診率向上や正しい知識の普及のために、ピンクリボン仙台推進委員会と第9回東北放射線医療技術学術大会事務局の共催で、「もっと知ろうよ 乳がんのこと」をテーマに講演会を開催いたしました。

た。東北大学大学院の石田教授による講演と、実際のマンモグラフィ装置を用いた検査の実演などを通して、乳がん検診の普及啓発を行いました。大変盛況でした。200人ほどの参加をいただいております。

5 ページ、4 の歩きやすい、運動しやすい環境づくりということで、(1) の仙台市まちなか歩数表示補助事業や(3) みやぎウォーキングアプリの周知など、各種イベントにおいて周知を行ってまいりました。

重点分野2の心の健康づくりでは、1. 地域の中で相談できる窓口の啓発は、(2) にありますパソコンやスマートフォンから仙台市のホームページにアクセスすることにより利用できるセルフメンタルチェックシステム「こころの体温計」で心の状態をチェックしていただくとともに、相談窓口を周知いたしました。

本日、チラシをお配りしております。12月末時点で約1万7,500人の方にご利用いただいております。中身は後ほどご高覧ください。

6 ページ、2 の震災後のこころのケアに関する啓発と被災者支援です。

(2) 復興公営住宅入居者等への支援で、震災からもうすぐ9年目を迎えようとしておりますが、被災者の方の中には、まだ心のケアが必要な方もいらっしゃいます。各区や精神保健福祉総合センター等において、復興公営住宅入居者の方々への訪問、面接・電話などによって個別支援を継続して実施しているところです。

また、看護協会に委託しております被災者支援では、復興公営住宅近くのスーパーなどで、まちの保健室を開催して、被災者が身近な場で気軽に相談できる場の提供や支援を行っていただいております。

重点分野3の健康な心と身体を支える食生活です。

1の乳幼児、児童・生徒とその保護者に向けた、肥満予防と将来の生活習慣病予防のための食生活の啓発、(1) 仙台市のPTAフェスティバルにおける取り組みでは、こちらに「生活習慣病予防コーナー」としてブースを出展し、「野菜をもっと食べよう」をテーマで、パネル、フードモデルの展示、レシピ配布、野菜クイズなどを実施いたしました。

7 ページをご覧ください。中ほどの2. 青年期における健康的な食生活の重要性と改善への啓発強化に移ります。

(1) の大学生の食育プロジェクトでは、市内の管理栄養士を養成する大学の協力により、「大学生の食育ワークショップ」を令和元年10月から5回実施いたしました。

『野菜を食べること』を実践する若者を増やす」をテーマに、野菜料理のレシピ集を作成中です。レシピの一部は、PTAフェスティバルや成人式でも配布いたしました。

8 ページ、重点分野4、歯と口の健康づくりです。

	<p>1のむし歯予防対策としての「3歳児カリエスフリー85プロジェクト」の充実・強化が図られ、小児科・歯科・大学・行政等の連携によるプロジェクト開始から3年が経過したことから、各種調査結果を下記の①から③のとおり、関係主体に周知し、今後の効果的な取り組みのあり方を共有いたしました。</p> <p>9ページをご覧ください。4の青年期からの歯周病予防に向けたセルフケア能力向上支援と専門家によるケアの強化。新たに20歳のデンタルケア事業の受診券利用勧奨対策を行いました。受診券の再発行は、昨年5件だったものが今年度140件あったということで、再度の勧奨の効果が出たのかなと思った次第です。</p> <p>5の生涯を通じたシームレスな歯と口の健康づくりを多職種連携で総合的に推進、(2)にあります、保健、医療、保育、教育、職域等に関わる関係機関、団体と一緒にメインターゲットである「学齢期」の効果的な取り組み推進ということで、「学齢期の歯と口の健康づくりマニュアル」の制作に向け、学校歯科医や養護教諭等との連携による具体策を検討しているところです。</p> <p>また、強化すべき社会環境の改善整備として、14ページの(2)にあります、フッ化物洗口を実施する保育所・教育施設の増加・拡大ということで、子供さんの家庭環境に左右されることなく、全員が一様にむし歯予防に取り組むことができるように、保育・教育施設におけるフッ化物洗口導入・拡大を支援いたしているところです。</p> <p>①保育所、幼稚園、認定こども園におけるフッ化物洗口実施施設が170件あります。それから、②の小学校におけるフッ化物洗口パイロット事業ですが、市内2校の小学校で実施中となっております。</p> <p>9ページ。重点分野5のたばこ対策の推進。</p> <p>1の(2) 仙台市薬剤師会が開催しています「薬物乱用防止・防煙キャンペーン」において、ブースを設置し、慢性閉塞性肺疾患(COPD)や喫煙の健康影響についての周知・啓発を図ったところです。</p> <p>10ページの中ほど、4の受動喫煙防止対策のさらなる推進です。</p> <p>(1)の①平成26年3月に策定いたしました「仙台市受動喫煙防止対策ガイドライン」を健康増進法の改正により、令和元年6月に改定をいたしました。また、(2)、令和2年4月から飲食店については原則屋内禁煙となりますことから、事業所に向けた受動喫煙防止対策の啓発を行っているところです。②にありますように、飲食店やビル管理者を対象といたしました仙台市受動喫煙防止対策セミナーの実施を行っております。今後、さらに周知・啓発をしていく予定です。</p>
健康福祉局 健康安全課長	重点分野6、日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防についてご説明をいたします。資料は11ページです。

	<p>1. 感染症に関する正しい知識の普及・啓発とタイムリーな感染症流行情報の提供について、仙台市感染症メディカル・ネットワーク会議を9月11日に開催し、最新の流行状況等についての情報共有を行っております。また、この下部組織である専門部会、さらには2回目のメディカル・ネットワーク会議を年度末にかけて予定しているところです。</p> <p>そのほか、蚊媒介感染症に関して、流行状況や蚊の生息状況調査結果をホームページにて情報提供いたしております。</p> <p>また、市医師会等と連携してインフルエンザ予防ポスターを医療機関、学校等約1,600施設に配布しているところです。</p> <p>2. 予防接種事業です。</p> <p>こちら、個別通知やホームページ等による接種勧奨や複雑化する接種スケジュールの周知について継続的に取り組んでおります。</p> <p>また、里帰り等で県外において定期予防接種を受けた方への接種費用助成は、11月末現在で162件になっております。</p> <p>3. HIV・性感染症検査体制や相談・カウンセリングの充実については、検査予約数ですが、11月末現在で1,095件となっており、平成30年2月から、休日検査の定員を増加しており、前年の776件より大きく伸びているところです。予約なしでの検査会を含めた検査実績は、HIVが1,267件、梅毒1,263件、クラミジア192件となっております。</p> <p>そのほか、NPO団体と連携して、スマホアプリ向け広告掲載を4回、インターネットサイト「仙台HIVネット」の運営、担当者の技術向上のための研修派遣等を行っております。</p> <p>このほか、本年度実施しております成人男性を対象とした風しんの追加的対策や、感染症発生動向調査の機能強化については、別途、この後、説明をいたします。重点分野6は以上です。</p>
<p>健康福祉局 健康政策課長</p>	<p>11ページの下欄、重点分野を支える社会環境の改善・整備です。</p> <p>後期計画では6つの重点分野における健康づくりを支える柱として、新たに「重点分野を支える社会環境の改善・整備」を位置づけております。令和元年度は、学校や民間を含む事業所との連携により、異業種の垣根を越えて、市民の健康を守る体制の枠組みに取り組んできたところです。</p> <p>12ページ(1)せんだい健康づくり推進会議ですが、地域保健と職域保健の連携による市民の健康づくりを学齢期から高齢期に至る継続的な健康づくりを推進することを目的として、「せんだい健康づくり推進会議」を設置いたしました。こちらは、昨年度までの「働く市民の健康づくりネットワーク会議」を再構成したもので、職域保健関係・地域保健関係・医療関係に加え、新たに仙台市学校保健会と仙台市PTA連絡協議会を構成員といたしました。</p>

また、会議内にワーキンググループを設置し、「仙台いきいき市民健康フォーラム」を開催しました。活動報告がありますので、こちらをご覧ください。

「仙台いきいき市民健康フォーラム2019」ですが、昨年11月24日（日曜日）に、東北福祉大学仙台駅東口キャンパスをお借りして開催いたしました。150名の市民の方々に参加をいただきました。

主催は、せんだい健康づくり推進会議で、ワーキンググループの主催団体、企業はここに記載されておりますとおりです。

パネルディスカッションを「健康まちづくり～みんなでのばす健康寿命～」をテーマとして実施し、コーディネーターであります寶澤先生に、宮城県・仙台市の健康づくりの現状や団体・企業間のネットワークづくりについてのお話をいただきました。

裏面をご覧ください。パネリストとして、1つ目に、企業の取組「健康経営への取り組み」をしていますゴリラガードギャランティ株式会社という警備会社です。こちらの取締役専務にお話をいただきましたが、自社農園で野菜をつくっていらっしゃって、それを社内キッチンで料理教室をしているとか、自動販売機に飲み物の糖分表示をしているとか、手作りヨーグルトを会社に備え付けている等々、独自の取り組みをしており、会社としてコストは余りかけずに、社員の健康を守ることで、結果的に会社の利益が上がったというようなお話をいただきました。

2つ目には、「安心安全のまちづくり活動の輪を広める歩数表示の実施」で、YARVOGという地域の団体が「ぼうさいダンス」をつくられて、それを広めていらっしゃるとか、高齢者向けのプログラムの作成や、ハーブのまちづくりプロジェクト、まちなか歩数表示の補助事業を活用していらっしゃるといようなお話がありました。

3番目に、行政の取組として、富山市から活力都市創造部の次長においでいただき、公共交通機関を軸といたしましたコンパクトシティの話、公共交通機関の活性化により、随分高齢者が外出したとか、二、三回に増えたといようなお話をいただき、さまざまな健康との関連事業についてご紹介をいただいたところです。

3ページ、ストレッチ体操を行ったほか、(3)健康づくりブースの展示ということで、それぞれの企業・団体の健康づくりの取り組みや健康チェック等々のブースが設けられたということで、かなり盛況の中でプログラムが開催されたところです。

資料1の12ページにお戻りください。図の下のところ、(2)のヘルステック推進事業への参加です。

ヘルステック推進事業は、医療・ヘルスケア分野にIT企業の参入を促して、課題解決を図る取り組みです。経済局が所管しております7つ

	<p>の重点プロジェクトの一つとして、経済局と（株）フィリップス・ジャパンが協働で進めているものですが、健康政策分野は、健康課題の提示などの役割を担い、関係企業によるさまざまなアイデアから具体の事業化を目指しているところです。</p> <p>（3）の健康長寿産業連合会への入会ですが、「健康長寿産業連合会」は、健康寿命の延伸に関する業界の垣根を越えた活動や官民一体となった社会課題への取り組みにより、健康長寿産業の振興を図ることを目的として、日本のトップ企業により設立された任意団体です。</p> <p>本市は、ワーキンググループにオブザーバー会員として入会いたしました。本日この会議が東京で行われておりまして、保健衛生部長が参加しており、この協議会は欠席させていただいております。</p> <p>以上のように現在、他部局、それから企業等と連携しながら環境づくり、整備というところに取り組んでおります。</p>
寶澤委員長	<p>議題ごとに、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきながら議論を進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、重点分野1「未来の健康をつくる生活習慣病予防」について、委員の先生方から何かご意見はありますか。</p> <p>私から感想を述べさせていただくと、学齢期の健康的な生活習慣形成の推進というところで、お子様たち、なかなか成人のところをとっかかりにせず、子供のところからこういった試みを創造してやっていただいているのはすごくインパクトがあるなと思って感心していたところなのですが、今年度から始まった事業でよろしかったでしょうか。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>昨年度の健康づくりフォーラムで、小学校の校長先生が参加されて、子供のころからの生活習慣というものが大事だということでお声がけをいただき、今年度から始めた事業です。</p>
安齋委員	<p>4ページの3の（1）保健指導の実施ということで、要医療判定で医療機関未受診の方への受診勧奨と保健指導を行っているところですが、その結果、何人ぐらいが対象となって、どのぐらい受診勧奨につながったかというあたり、なかなか難しいかなと思ったので、実際に直接このような指導をされることでどのぐらいの効果があつたのかというところを教えていただければと思います。</p>
健康福祉局 保険年金課長	<p>平成30年度の今わかっている範囲でお答えいたしますと、対象となる方が251名いらっしゃいました。この方々にハガキや電話などで受診勧奨し、結果、約8割弱の方が受診につながっております。</p>
安齋委員	<p>かなり成果があるということですね。ありがとうございます。</p>
寶澤委員長	<p>受診しなくてはならないのは50人ぐらいしか残らなかったと、残り2割が受診していないということで、認識としてはよろしいですね。</p>

健康福祉局 保険年金課長	平成30年度の対象となった方では、約8割弱の方が受診されました。ただ、対象となる方は、毎年度の検診で新たに該当となる方もおりますので、現時点で残りが50人ということではありません。
寶澤委員長	このほか、いかがでしょうか。では、赤坂委員。
赤坂委員	市民健康診査の結果で、子宮頸がんの受診をされた方の数が、平成30年度に比べますと8,500人くらい減っている状況なのですが、何か行事とか対策とかはお考えでしょうか。
健康福祉局 健康政策課長	子宮頸がんについては、2年に1回の検診となっており、そのときの方々は次が2年後で、ちょっと下がるということがあります。毎年、グラフにするとぎざぎざな感じで、受診者が増えたり減ったりということがあるということです。
寶澤委員長	2年前はどうだったのですかを聞きたくなるのですが。
健康福祉局 健康政策課長	今、調べております。
寶澤委員長	結果が出たら、発言いただければと思います。猪股委員お願いします。
猪股委員	先ほど、学齢期の生活習慣形成の推進のために、授業用の教材づくりをされているということだったのですが、これは具体的に何でしょうか。テキストなのか。それとも教育的なビデオとか、具体的にどんなものをおつくりになっているのかなと思いました。
健康福祉局 健康政策課長	教材は、パワーポイントでつくっているものと聞いております。
小田島委員	胃がん検診の受診率のところですか。内視鏡検査の方が1万人を超えたというご報告でございましたが、これまで受診されていた方が内視鏡検査受診に移行したのか、それとも、この内視鏡検査をすることで新たな受診者が増えたのか、その辺、教えてください。
健康福祉局 健康政策課長	個人がどのように移られたのかというのは把握が難しいですが、今年度から実施されたもので50歳の方でご希望の方はということなので、バリウムのレントゲン検査と胃内視鏡による検査、どちらかを選んでいただく形になっておりますので、今後、どういうふうに伸びていくかも見ながら、検討していきたいなというふうには思っております。
寶澤委員長	50歳の方だけで1万人ということですか。
健康福祉局 健康政策課長	50歳以上の方の偶数年齢、50歳、52歳・・・ということですか。
寶澤委員長	わかりました。ありがとうございます。佐々木委員。
佐々木委員	私も、学齢期のところが非常に気になっており、授業用の資料を作成するというのですが、この資料についてはどのような形で啓発するのか。学童期は大変重要だということも、私もそう思いますが、どのよう

	に活用するのか教えていただければと思います。
健康福祉局 健康政策課長	学校については、例えば学校保健委員会等に呼ばれたときに活用できるかなと思いますし、あとは学校の先生が授業の中で使われるということ、それから、地域の中でそういった健康教育の要望がありましたときに、持っていけるかなと思っております。
保角委員	先ほど質問されたことなのですが、小学校の授業用の資料というのは非常に気になりました。生活習慣病の予防について保健で詳しくやったりするのは、小学校の研究会、保健体育の研究会と連携してやったというのは非常にいいことだと思うのですが、小学校で取り組んでいるのに、中学校になったらそれが生かされないというケースが見られます。 歯にしても、中学校でそういう取り組みがないと、昼休みに歯を磨く習慣がなくなるので、ぜひ、もしそのような資料があれば、中学校のほうにも配布していただくと、啓蒙につながると思います。
寶澤委員長	後ほど歯の話は改めていたしますが、今回、確かに「小学校の授業の他」とあるのですが、中学校あたりにも活用できる……、すみません、今年度から、多分思い切って始めた授業で、みんな期待が大きいということで質問が集中しておりますが、そのほかよろしいでしょうか。
長野委員	本来、仙台市の方が説明することかもしれませんが、開業医の立場として、今までご質問の関連ということでお話いたします。 数年前から、私は中学校の校医をやっていますが、側弯症は前からあったのですが、O脚、X脚はないか。それから、万歳ができる・できない。それから、しゃがみ込みができない。和式のトイレに座れない。しゃがんじょうと後ろにこけるということで、そのような運動能力というものを、運動器検診というふうに呼んでいるのですが、整形外科医の先生方のご協力を得て、学校医の中に整形外科医は入っていませんので、ご家庭でご父兄、保護者の方々にチェックしてもらって、それで要チェックの方をさらに検診のときにやっているという状態です。 それから、胃がん検診ですが、さっきのご質問のとおりで、誤解があると思うのですが、今までどおりのバリウム検査も残っています。35歳以上の方でバリウムをやりたい方はバリウムでやって、バリウムを希望しない方は内視鏡と、これは従来どおり残っています。 二本立てで、今回、先ほどお話のあったように、50歳以上で偶数の方が手挙げ方式で内視鏡のほうでやってもいいということですが。 ただし、内視鏡で受けますと、次年度、次の年は内視鏡は受けられません。つまり、早期発見のために1回やっておけば、1年で進行がんが見つかることはないでしょうということで、内視鏡検査は2年に1回というふうになっています。ですので、今年、胃がん検診、内視鏡検査を

	<p>受ける方は、来年度内視鏡は受けられないということです。</p> <p>子宮がん検診に関して、頸がんワクチンは新聞でも最近いろいろ出ていますが、積極的勧奨をしない、このままでいいのかどうかというふうなことも、仙台市医師会のほうで婦人科の先生方を中心にこのままの状態でもいいのかどうか、賛否両論ありますので、この場でご討議するつもりはありませんが、子供たちの接種状況について現状でもいいのかどうかということも、仙台市医師会が積極的に関与したいと考えています。</p> <p>最後に、要医療ということで受診勧奨してもらいました。やはり、政令指定都市の中で特定健診、基礎健診、トップなんですね。要指導とか要支援とか、いわゆる将来の一番大事な方々が、なかなか事後指導で、医療ではないのですが、医療になる前に体重を落としましょうねとか腹囲を減らしましょうねという方々がなかなか結果を聞きにきてくれない。あるいは聞いても積極的な指導を受けるまでにはいかない。だから、受けるのは受けるのだけれども、要医療はかなりの方が行っていってしまう。でもメタボやあるいはメタボの予防、将来病気にならないというための方々がなかなか受診してもらえない。それを仙台市のほうでも受診率を底上げしようということになります。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>さきほどのご質問にありました子宮頸がん検診の平成29年度の受診率ですが、6.8%ということになりますので、令和元年度の11月末現在6.5%ですので、若干下がっています。</p>
寶澤委員長	<p>8.4%と比べられるときついのですが、来年はすごく上がって見えるということですよ。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>そうですね。</p>
寶澤委員長	<p>来年は来年で注意して見させていただきます。</p> <p>次の重点分野2ですね。「心の健康づくり」についてです。引き続き、積極的にご発言いただければと思います。何かありますか。</p>
片倉委員	<p>6ページの2番目、震災後のこころのケアに関する啓発と被災者支援というところでご質問いたします。</p> <p>(2)の復興公営住宅近隣のスーパーマーケットでまちの保健室を開催しておりますが、仙台市は何か所まちの保健室があるのかということと、定期的に行われているのかということと、参加者はどのぐらい参加しているのかをお伺いしたいと思います。</p> <p>南三陸のまちの保健室にここ2、3年参加していて、年々参加者が増えている現状なので、仙台市はどうかということでお伺いしました。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>まちの保健室は、ただいま宮城野区と若林区の2カ所で行っております。2カ月に1回の開催でして、平均28人ぐらい、相談者の方がいらっ</p>

	しゃるといことです。
片倉委員	このときに、管理栄養士は支援に入っていますか。
健康福祉局 保健政策課長	看護協会に委託となっており、看護職のみとなっています。
片倉委員	実は、南三陸の看護協会がやっていたところを、2年前から栄養士会と合同でやろうということで入っているのですが、参加者に管理栄養士が入ることによって、的確にお話を受けることができるとても感動しているのです。そういう方を昨日も何遍も見えていますので、ご配慮いただければ、なおいいかなと思いましたが、よろしく願いいたします。
健康福祉局 保健政策課長	ありがとうございます。検討していきたいと思います。
寶澤委員長	そのほかいかがでしょうか。 続きまして、重点分野3「健康な心と身体を支える食生活」といったところで、委員の皆様からご質問をいただければと思います。
片倉委員	7ページの3番目の高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識普及と実践への啓発というところで、保健福祉センター・総合支所が実施しているのですが、社会福祉協議会とかシルバーセンターと連携をしているということはないのでしょうか。単独で実施と思ってよいですか。
健康福祉局 健康政策課長	現在のところ、総合支所で独自で行っているものです。
寶澤委員長	シルバーセンターなどは、別途、ここでは出てこない形で何かやっていらっしゃるのか。別なところでそういった話がされているとか、話がされていないとか、もしわかれば教えていただければ。
健康福祉局 健康政策課長	社会福祉協議会で、各地域の中でサロン活動とかをやっていらっしゃるみたいなのですが、その中で、栄養に関する健康教育も行われておりますし、あと、介護予防月間の中でいろいろな事業をするときに連携しながらやるというところがあります。
片倉委員	今質問したのは、社会福祉協議会とシルバーセンターから、健康教育、このフレイルの低栄養予防の講話の依頼を何カ所からも受けていますので、一緒にやれば効果が上がるのではないかなと思って毎回受けてはありますが、もったいないなと思いましたが、お話いたしました。
寶澤委員長	引き続き情報共有を進めていただければと思います。 続きまして、重点分野の4「生きる力を支える歯と口の健康づくり」について、委員の先生方からご意見をいただければと思います。 学校でフッ化物洗口を2カ所ぐらいやっていらっしゃる場所があって、いつもここで質問が出てくるのですが、今回、7のところに記載されていたので、どこで聞いたらいいいかなと思ったのですが、その後の

	折立と秋保の事例について、情報共有いただければと思います。
小菅委員	<p>フッ化物洗口のパイロット事業ですが、平成28年に、まずは仙台歯科医師会で予算化したものを折立小学校の1学年でスタートしました。何年かやった上で、いろいろ検証等も踏まえ、令和元年度、さらに1校増やし、秋保小学校でもやり始めました。</p> <p>実施自体は、特に現場の混乱等もなく実施できているようです。特に学童期は、乳歯から永久歯に生え変わる時期ということで、う蝕予防対策を継続して行うことで、その後の永久歯の健康や、ひいては生涯を通じての全身の健康にも大きく影響するところです。子供たちの歯と口の健康格差がないように、この事業の実施をどんどん広げていきたいなど考えているところです。</p> <p>なかなか一気にというわけにもいかないところもありますので、関係課や学校と協力しながら実施校の増加を考えております。</p>
寶澤委員長	フッ化物洗口は3年ぐらいになりますよね。折立小学校で、他校と比べて、う蝕の発生率が下がっているというような情報は、歯科医師会のほうまで上がってきていますか。
小菅委員	<p>そもそも折立小学校は割とむし歯が多いところだったので、フッ化物洗口をやろうと思ったわけです。3年間やってみて、確かにむし歯の有病者率は下がってはいるでしょうが、継続的にデータをとっていかねければならないところです。</p> <p>ただ、フッ化物の効果というのはもう明確ですので、改めてう蝕予防効果の検証をするということではなく、実施に向けてどのように工夫したら学校現場の負担が軽減されるかということをまず解決していくほうが大事なんじゃないかなというふうに考えています。</p>
寶澤委員長	仙台歯科医師会的には、もうやれば効くことはわかっているが、実際どうやればいいのかというところを検証していらっしゃるという、そんな状況ですかね。
猪股委員	先ほど聞き逃したのですが、20歳のデンタルケアの未受診者に対するハガキ、去年は5件だったのが、今年は再発行が140件ぐらいあったところですが、もう一度ご説明いただければと思います。
健康福祉局 健康政策課長	20歳のデンタルケアの受診者全員、対象者が1万1,000人ぐらいですが、ハガキを全員に出し、その中からまだ受けていない方が、受診券をなくされたりすると再発行しています。その件数が、昨年度は5件だったのですが、今年度そのハガキを出したことにより、再発行してくださいという要請が150件ほどあったということです。
寶澤委員長	再発行が多いというのは、改めて受けたいという、そういう意思表示ということですか。

健康福祉局 健康政策課長	そうですね。
寶澤委員長	受診率とかそのものの直接的なものはなかなかわかりませんか。
健康福祉局 健康政策課長	受診率はこれからの集計になります。
佐々木委員	先ほどのフッ化物洗口の効果はあるということで、各地域で進めていると思います。仙台市が率先して進めているのはいいなと思うのですが、そう多くはかからない予算だということはわかりますが、パイロットは歯科医師会で、59.2%の保育所、幼稚園、認定こども園の予算はどのようになっているのでしょうか。
健康福祉局 健康政策課長	保育所、幼稚園に対するフッ化物洗口実施の初年度の予算は150万円程度で実施しているところです。
小菅委員	ちょっと補足します。仙台市立の保育所と幼稚園は、100%実施しております。私立の施設をあわせると約6割の実施率ということです。
佐々木委員	仙台市が率先して進めていただけると、他都市も進みやすくなるかなという思いで質問いたしました。
寶澤委員長	重点分野5の「大切な人の健康を守るたばこ対策の推進」について、委員の先生方からご意見いただければと思います。
保角委員	仙台駅もですが、昔と全然違うなということで、たばこを吸っている人、歩きたばこか見かけなくなったのです。非常に整備されたのかなと思いますし、喫煙者も定められた場所、非常に少なくなっているのですね。そういうマナーを守って、人の迷惑にならないという意識は育っているなど感じておりました。また継続してお願いしたいと思います。
相澤委員	若林区では、北村先生もご一緒なのですが、小学校5、6年生を対象に、各小学校で受動喫煙などたばこの害について対象にした防煙教育を一緒に行っています。
片倉委員	勾当台公園のトイレのところに、お昼になりますと50人ぐらいの男性の方がたばこを吸っています。たまたま栄養士会の事務所が近くなので、大学の講義が終わったらその前を通るのですが、車の中に煙が全部入って、しばし抜けないうなぎ煙です。そこに子供たちがお母さんと一緒に遊んでいるのですよ、公園で。仙台市の職員の方は、多分あっちまで行かないと思うのですが、まだまだ公園の外で50人ぐらいの方がたむろして吸われているという姿は異様だなと思うので、これはまだまだ徹底されていないなと思いましたので、その辺はどうしたらいいかは仙台市に伺っても難しい部分もあるのでしょうか。
寶澤委員長	公園の中というのは基本的に禁煙ということですか。
健康福祉局	公園に関しては、法律的にはそういう定めがございませんので、ただ、

健康政策課長	<p>受動喫煙の観点からすると、苦情があつたりすることで、公園の管理者が、例えば灰皿を撤去するとか、そういった対策をとろうということで頑張っているとは聞いています。</p>
寶澤委員長	<p>どこに向かってたばこを吸いに行くのかという話はあるのですが、まずは、実害を被っている片倉先生から、勾当台公園の管理者には臭くてたまらんという苦情を入れていただかないと始まらないよだということです。</p> <p>一応、法的に公園で受動喫煙を、子供たちが近くにいるからという理由だけでは吸ってはいけないとはならないようですので、個別に苦情をお願いします。皆さん、周りで困っていることがあったら個別に入れるしかないというのが、公的機関についてはそのようです。</p>
北村委員	<p>今お話のありました防煙教育なのですが、ご家庭で誰が吸っているかという喫煙率を確認したところ、ものすごく地域差があり、若林区は比較的喫煙率が高い。まちの中の学校でやりますと、非常に少ないと。</p> <p>例えば、まちの中では家族が吸っているのは10数%。ところが、若林区の多いところでは50%を超えるところもあります。地域差がまずあるということと、お話を聞いている中で、経済格差の中でもたばこ、喫煙という問題もやっぱりあるのかなと思います。それから、職業的なところもあるかと思ひます。</p> <p>今のような公園では本当に周りに迷惑ですが、漁業をやる方がたばこを吸っても周りに迷惑はかからないというところがあるので、そのような周りの環境と職業の問題もあるのかなと思ひます。</p> <p>ただ、本当に差があるということ、それを少しずつ考えていかないといけないのかなと思ひます。</p> <p>子供たちの中では、たばこは体に悪いというのが、中高生あたりではかなり浸透していると思ひます。僕らの高校のときは、ワルしかたばこは吸わなかったが、今、たばこはそういう意味で吸う子は少ないことは確かです。</p>
長野委員	<p>1月10日に仙台市医師会の新年会、300人ぐらいお集りいただいて、市議会議員の先生方もいっぱいいらっしゃいまして、その席で、冒頭に、医師会長がたばこの問題に触れ、議場のこととか、建物の中のこととか、いろいろ苦言を呈しまして、「昨年、市議会議員の選挙があつた。そこでたばこを吸うか吸わないか事前に聞いておけばよかった」というジョークもお話しして、「次回、たばこを吸う人は応援しないよ」みたいな、恫喝ではないのですが、そのように仙台市医師会としても仙台市議会議員の先生方に禁煙ということは、オリンピックもございます。健康問題はもちろんです。</p>

寶澤委員長	<p>ありがとうございます。ここでの議論になるところと、そうでない部分というのはあるかと思います。小田島委員、何か一言。</p>
小田島委員	<p>報道されているようなことが表に出ておりますが、議会の中では機会があるごとに意見交換も行われていますので、お察しいただければありがたいなと思います。</p>
寶澤委員長	<p>保健所運営協議会的には、委員の皆様方の努力を全面的に応援しておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、重点分野6の「日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防」について、委員の先生方から何かご意見ありますでしょうか。</p>
赤坂委員	<p>意見ではなく要望です。今、中国で新しい肺炎が流行し始めており、今年はオリンピックもあるので、多分、議題として出てくるんだろうと思うのですが、国としていろいろ動くということはあるかと思うのです。そういった情報をできるだけ早く皆さんに伝えられるようなことをしていただければなと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
寶澤委員長	<p>外国の方にたくさん来てもらわないといけない部分と、こういったリスクの部分となかなか難しいところがある。余り厳しくし過ぎると誰も来てくれないということがあるのかなとは思いますが、情報共有のほうはよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、「重点分野を支える社会環境の改善・整備」について、委員の先生方からご意見ありますでしょうか。</p> <p>この間の健康フォーラムは、本来の健康づくりと、今日上がっている議題だけでも相当あるのですが、まちづくりというところも健康政策課のほうに音頭をとっていただいて、富山での電車を活用したまちづくりとか、そういった話も市民にアピールする形で、市の各部局もまたいだ形でやっていただけていること、すごく感謝しており、こういった事業だけではなく、未来の仙台市にとって何が必要かを議論できる場が多くなっているのはすごくいいことだと思います。市民を支えるというところ、推進会議も含めてやっていただけていることに、委員長として、委員の一員として感謝申し上げますということをお伝えしておきます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p>
安齋委員	<p>この建物の1階にまちづくりの東北大学の先生と学生とが協働してやったというパネルがありますが、最近、建築をベースにしたまちづくりとか、地域診断とかを盛んにやっていらっしゃる方がおり、宮城大学にもそれをベースにまちづくりということを専門にしている先生がいるので、同じような地域を診断しながら対策を考えていくという専門の人たちがいるということは知っていたのですが、下のパネルを見ていただいても、高齢者の方々の生活のために、とは入るのですが、そこに健</p>

	<p>康という観点がもっとあったらいいのと思うのですね。</p> <p>私たちも、一緒に建築の人たちと考えていきたいと思いますというアピールをしていかななくてはならないと思うのですが、そういう方々も一緒になって、まちをつくる人たちと健康的なまちづくりというものを考えていけるといいのかなというふうに思いますので、今後、参考にしていただければと思います。</p>
寶澤委員長	<p>お忙しくはなると思うのですが、ぜひお願いします。</p> <p>次の議案、風しん対策についてです。事務局よりお願いいたします。</p>
健康福祉局 健康安全課長	<p>風しんの追加的対策の実施状況についてご説明をいたします。</p> <p>風しんの追加的対策は、平成30年度第2回の本協議会でもご報告をいたしました。今回は本年度の実績をご報告いたします。</p> <p>初めに、1の追加的対策の概要ですが、こちらは、一昨年度は8月ぐらいから全国的な風しんの流行が続いていることに伴い、感染拡大防止を図るために、抗体保有率の低い年代の男性に対して、無料で抗体検査、予防接種を行うこととなったものです。</p> <p>対象年齢は昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性、実施期間は平成31年3月15日から令和4年3月31日まで、およそ3年間とされております。</p> <p>実施状況です。無料で接種を受けるため、全国の登録医療機関、もしくは健康診断の事業者で受けることができるのですが、こちらのクーポン券、こちらは国の方針で、本年度いっぱいのものでとりあえず用意しておりますが、4月に昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの方について、約6万通を発送しております。こちら区切ったところは、ワクチンの供給状況とかの混乱も来すかもしれないという国の指導によるところですが送っております。</p> <p>次いで、10月ですが、大体8月、9月までの実施の状況を見まして、仙台市の独自の判断として、残っております昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの残りの男性の方について、大体7万4,000通のクーポン券を発送しているところです。</p> <p>なお、仙台市内の登録医療機関については、このクーポン券がなくても受検等できるという取り扱いとしているところです。</p> <p>これに関連した啓発です。市ホームページや市政だより、ポスターの掲出などとあわせて、働いている方が多い年代ですので、企業へのチラシの配布や、商工会議所等を通じた事業所へのメール配信で啓発しております。</p> <p>3番の11月末現在の実績ですが、風しんの抗体検査が1万4,458件、風しんの予防接種が2,173件となっております。</p>

	<p>こちらの実績は、10月までは比較的低調でして、10月に各種マスコミで取り上げられたこと、また、10月末に7万4,000通をダイレクトに送っておりますが、その関係で、11月に多くなっているところです。</p> <p>10月までの傾向でいきますと、ほぼ全国平均程度の受検率は確保されており、11月以降、この勢いが続いてくれると、順調に行くかなという状況です。</p> <p>4番、今後の対応ですが、現在送付しておりますのは、今年度いっぱいという期限のクーポン券です。まだ、受検等していない方については、令和2年度の抗体検査、予防接種クーポン券を年度末に送付予定としております。</p>
寶澤委員長	この件について、委員の先生方から何かご意見はありますか。
長野委員	情報として、やはり、風しんという感染症に興味のある方々は、インフルエンザの予防接種と同時に開業医のところに来るのですね。そのために11月にちょっと多いかなということで、いいことだと思うのですが、インフルエンザの予防接種と同時に風しんもと言って、一緒にということ接種する方もいらっしゃいます。
寶澤委員長	実際、抗体の陽性率って大体どのぐらいになりますか。受けている方が2,000人ぐらいなので、大体7割から8割ぐらいは実際に抗体を持っていたということなのかなと思って見ていたのですが。
長野委員	統計はとっていないのですが、うちに来た患者さんで8倍未満とかという方は、若い方でいますね。
寶澤委員長	では、続きまして、資料の3ですね。感染症発生動向調査の機能強化について、事務局からお願いいたします。
健康福祉局 健康安全課長	<p>感染症発生動向調査の機能強化についてご説明いたします。</p> <p>資料3の趣旨ですが、今年行われます東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国内外からの人の動きが増えることにより、マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多数の集団）と定義づけられておりますが、こういったものは感染症発生リスクの増大が懸念されるということで、早期及び広範な感染症対応の体制強化として、感染症動向調査の機能強化が全国的に図られているところです。</p> <p>2番の感染症動向調査とは、感染症の発生動向を正確に把握・分析をして、これを国民や医療機関に迅速に提供・公開することにより、感染症に対する的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、感染症の発生及びまん延を防止することを目的に実施されている調査です。</p> <p>資料で配布いたしましたのは、今日発行された仙台市衛生研究所発行の感染症動向調査の実物です。仙台市では、毎週このような調査結果を</p>

	<p>発表し、この結果を医療機関、関係者などにもメール配信を行っているところ。ホームページでも公開しているので見ることができます。</p> <p>こちら、法定の感染症を診断した医師、もしくは指定届出機関が保健所に届け出ることとされているのですが、当該届出情報ですが、感染症サーベイランスシステム（NESID）とありますが、これにより厚生労働省に報告されるというシステムで動いています。</p> <p>こちらの機能強化の中身ですが、1つは、自治体間の情報の共有が、新しく機能として付け加えられております。これまでだと、こういった発生動向調査の情報は、県もつくっておりますし、国のほうからも公表されて還元されておりますが、そうではなくて、ほぼリアルに情報を共有するというので、感染症の発生動向を共有することが有益と考えられている疾患ですが、5つほどあります。麻しん、風しん、侵襲性髄膜炎菌感染症、中東呼吸器症候群、腸管出血性大腸菌感染症、こちらについて、この感染症サーベイランスシステムを活用し、全国の発生状況を自治体間で共有できるようになっております。</p> <p>運用開始は令和元年9月5日で、イベント期間中は毎開庁日1回更新され、そうでないときは週1回更新されることになっております。</p> <p>ちなみに、昨年開催されましたラグビーのワールドカップ期間中については、イベント期間中ということで、このシステムで毎日、全国の感染症の発生動向が更新されていたところ。です。</p> <p>次に、2つ目ですが、疑似症サーベイランスの取り扱いの見直しが行われております。</p> <p>こちらは、重症であり早期に対応が必要な疑似症例を迅速に探知することを目的に見直しを実施しており、感染症の症状を呈しているが、実際に病名がはっきりしないものをいち早く探知しようというための試みで、従来からそういったものを届け出る仕組みもあったのですが、定義をより明確にし、また、届出期間についても、そういった方が実際に受診するようなところを改めて指定することになっております。</p> <p>要件の見直しですが、感染症を疑わせる症状があること。あと、症状が重篤であることも付け加えております。集中治療その他これに準じる医療が必要と医師が判断したと。それから、直ちに特定の感染症と診断することが困難と判断されたとき。この要件を満たすものが指定届出医療機関を受診した場合に、保健所に届出が出され、厚生労働省まで報告が上がり、必要な対応がとられるということです。</p> <p>また、要件の見直しを踏まえ改めて作成された選定基準に基づき、指定届出医療機関のほうに指定されております。</p>
<p>寶澤委員長</p>	<p>ありがとうございます。何かご意見はありますか。</p>

長野委員	<p>情報提供です。</p> <p>先ほど、赤坂委員もご懸念のように、今、新型コロナウイルスということで、いろいろ新聞でも報道されております。</p> <p>今夜、仙台市医師会館において、仙台市、それから専門家の先生方と、仙台市としての対策を検討します。患者さんが入ってきた場合、我々みたいな開業医のところにはまずかかるわけですから、最初に必ず渡航歴は聞くのですが、インフルエンザAもまだまだはやっていますし、どのようなフローチャートでいくのかを確認し、仙台市を通じて市民の皆様へ情報提供を行っていきたいと思います。</p> <p>幸い、寶澤先生もご存じでしょうが、東北大学の押谷先生という、ウイルスで日本のみならずWHOでも有名な先生も地元いらっしゃいます。このたび退官された賀来先生も中央にも呼ばれたのですが仙台に残って、現在医科薬科大学の教授です。非常に全国トップレベルのお二人が地元いらっしゃるので、WHOからのメールも直に押谷教授に入っていますし、本当に仙台にいながらと言っては何ですが、東京に匹敵するぐらいの情報が入ってきますので、それを整理して、皆様方に提供したいというふうに考えております。</p>
寶澤委員長	<p>本日の議事はここまでですが、この場をかりてまだ言い足りないことや、これを言い忘れたということはありませんか。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>今日お配りした中に、せんだい3.11メモリアル交流館企画展のお知らせと一緒に配付されております。こちらは、皆様ご存じかもしれませんが、地下鉄の東西線の荒井駅の中に、せんだい3.11メモリアル交流館がありますが、そこで、2月の22日から6月28日まで、「3.11現場の事実×心の真実」ということで、東日本大震災のときの保健師活動についての企画展を催す予定です。</p> <p>本日、案内チラシが間に合わなかったのですが、もし機会がございましたら、ぜひお出かけいただきたいなと思いました。</p>
寶澤委員長	<p>我々が議論することで仙台市の保健福祉や保健所の運営に還元できるように引き続き頑張っていきたいと思いますので、ぜひご協力よろしくをお願いいたします。</p> <p>あと、改めまして、今日いろいろご報告いただきました仙台市が、どれだけ市民のことを守ってくれているか、本当によくわかりましたので、引き続きよろしくをお願いいたします。</p> <p>私の感謝の言葉をもって事務局にお返ししたいと思います。</p>
〈閉会〉 進行	<p>以上をもちまして、令和元年度第2回仙台市地域保健・保健所運営協議会を閉会いたします。</p>

令和 年 月 日

署名委員